

現代の国語	単位数	2単位	学科・学年・学級	
-------	-----	-----	----------	--

## 1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「現代の国語」(現国現国 002-903)
副教材など	「現代の国語 学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / 「ジャンプアップ高校漢字問題集 改訂版」 / 「常用漢字の標準演習 改訂版」 / その他、QR コンテンツ(教科書)、指導用 DVD-ROM 収録の補助資料など

## 3 評価の3観点と学習指導要領との対応

平成30年告示の学習指導要領では、評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つとなった。

学習指導要領との対応は以下のとおりである。

- ・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。
- ・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の2つの側面を評価することが求められている。
  - ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。
  - ②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

## 4 「年間指導計画例」の見方

本資料の各項目の概要は、以下のとおりです。

### 《薄いグレーの見出し》

- ・学期と各編の単元番号と名称、配当月を示した。

### 《領域・教材名・ページ数・配当時数》

- ・領域（話す・聞く／書く／読む）、教材名、ページ数、配当時数を示した。

### 《学習指導要領との対応》

- ・学習指導要領の指導事項や言語活動例との対応を示した。

#### 記号の意味

[知技] …… 「知識及び技能」の指導事項

[思判表] …… 「思考力、判断力、表現力等」の指導事項

⊕ …… 「思考力、判断力、表現力等」の言語活動例

### 《学習目標》

- ・附録「この教科書で学ぶこと」に掲載の学習目標を示した。

### 《学習活動例》

- ・配当時数の中で考えられる学習活動の例を示した。

#### 記号の説明

\* …… 指導上の留意点や別案

### 《評価規準例》

- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点による評価規準例を示した。
- ・「知識・技能」の評価規準例は、各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔知識及び技能〕の指導事項の文言をそのまま用いて、文末を「～している。」とした。
- ・「思考・判断・表現」の評価規準例は、各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項の文言をそのまま用いて、冒頭を「（領域名）において、」として領域を明示し、更に文末を「～している。」とした。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準例は、扱っている全ての指導事項について設定した。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」は、次の3つの内容を全て含め、各教材の目標や学習内容等に応じて、その組み合わせを工夫しながら設定している。また、文末は「～しようとしている。」とした。

- ①粘り強さ〈積極的に、進んで、粘り強く等〉
- ②自らの学習の調整〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等〉
- ③他の2観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）

#### **記号の意味**

[知技] …… 「知識・技能」の評価規準例

[思判表] … 「思考・判断・表現」の評価規準例

[主] …… 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準例

◆年間指導計画例

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領と の対応	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点など)	評価規準例
■ 1 学期				
読解編 1 視点を変える (4月)				
読む(話す・聞く／書く) 木を見る、森を見る P 6 2時間	<b>[知技]</b> (1)ア、 ウ、エ、オ <b>[思判表]</b> 話す こと・聞くこ と(1)オ 書くこと(1)ウ 読むこと(1) ア、イ	・タイトルや具体例 に注意して主張を 捉え、物事を多様な 視点から見る姿勢 を養う。	<b>&lt;第1時&gt;</b> 1 「視点を変える」ことの意義について考えながら、本 文を通読する。(手引き1) 2 「視点を変える方法」や「ゲシュタルト的な見方」が 具体的にどのような方法や見方か、本文の論旨をもと に読み取り、まとめる。(手引き2・3) 3 具体例を挙げて、人間の認知の仕方における問題点を つかむ。(手引き4-1・4-2) 4 筆者は、物を見る視点を変えることによってどのよう な新しい「！」を見いだしているかを理解し、まとめ る。(手引き5-1・5-2) 5 「自在に視点を変えられる目」とはどのようなものか、 本文の論旨をもとに読み取り、まとめる。(手引き6) <b>&lt;第2時&gt;</b> 1 「アートこそ、柔軟な目を養ういちばんの方法かもし れない。」という筆者の主張に対してどのように考え るか、四百字程度の文章を書く。(言語活動1)／現 代の社会における問題を一つ取り上げ、「木を見る」 視点と「森を見る」視点の両方で現状を調べて発表す る。(言語活動2)	<b>[知技]</b> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解 している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文 章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必 要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特 色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中 で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしてい る。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につ いて理解している。 <b>[思判表]</b> ・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考 えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、 状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の 出し方を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝 わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるととも に、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工 夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容 や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉 え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表な

				<p>どに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p><b>[主]</b> 粘り強く本文の要点を把握し、学習課題に沿って視点を変えてみることを理解し、自ら論点における課題を調べようとしている。</p>
<p>読む（話す・聞く） 統計の信用性とバイアス</p> <p>P13 2時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア、ウ、エ、オ <b>[思判表]</b> 話すこと・聞くこと(1)イ 読むこと(1)ア、イ</p>	<p>・論の展開に注意して評論を読み、社会の中での統計の在り方について考えを深める。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「統計や数字」と「人の判断」についての筆者の考えに注意しながら、全文を通読する。（手引き1）</p> <p>2 現代社会で統計理論がいたるところで活用されていることについて、筆者はその理由をどのように考えているかを読み取る。（手引き2）</p> <p>3 「属人的な信頼」に代わり、数字を信頼のよりどころとする際に生じる「不安」とはどのようなものであるかを理解する。（手引き3・4）</p> <p>4 「現代社会のバイアス」の具体例を挙げる。（手引き5）</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 統計や数字を「客観」的なものとして捉えることについて、筆者はどのような問題点があると考えているのかを読み取る。（手引き6）</p> <p>2 文章の内容を接続表現に着目しながら図にまとめる。（言語活動1）／統計の結果やA Iの判断が活用されている具体例を挙げ、利点と問題点を発表する。（言語活動2）</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考え</li> </ul>

				を深めている。 [主] 粘り強く数字や統計の信用性について理解し、A Iの判断が客観的なものとして固定される危険性について、自分の考えをまとめようとしている。
読む（話す・聞く／書く） 水の東西 P18	[知技] (1)ア、ウ、エ、オ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)イ 書くこと(1)ウ 読むこと(1)ア	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	<b>&lt;第1時&gt;</b> 1 「鹿おどし」と「噴水」の違いに着目して全文を通読する。（手引き1） 2 本文が、二つの概念を対比して論じる二項対立の型で展開されていることを押さえる。（コラム——評論の型） 3 「鹿おどし」の具体的な動きと、「鹿おどし」を見て筆者が感じ取ったことを表現に即して読み取る。（手引き2-1） 4 「鹿おどし」に対するニューヨークの人々の反応と西洋の噴水の様子を表現に即して読み取る。 5 日本人が噴水を作らなかった理由をつかみ、「鹿おどし」（日本人）と「噴水」（西洋人）の水に対する捉え方の違いを理解する。（手引き3-1） 6 水に対する日本人の感性を筆者の考え方に沿って捉え、日本人の感性の特質と「鹿おどし」の関係を理解する。（手引き2-2・3-2・4） 7 「水の東西」の理解を深めるために「思考への扉1——文化の東西」を通読する。（思考への扉1——文化の東西）	[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。
◆思考への扉1 ——文化の東西 P26	[知技] (1)ア／(3)ア [思判表] 読むこと(1)イ	・書かれている内容を理解し、「水の東西」を読み深める。	6 水に対する日本人の感性を筆者の考え方に沿って捉え、日本人の感性の特質と「鹿おどし」の関係を理解する。（手引き2-2・3-2・4） 7 「水の東西」の理解を深めるために「思考への扉1——文化の東西」を通読する。（思考への扉1——文化の東西）	[思判表] ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。
▼コラム——評論の型 P24 2時間	[知技] (1)ア、オ、カ／(2)ア [思判表] 読むこと(1)イ	・評論の型を理解し、評論の読み方を知る。	<b>&lt;第2時&gt;</b> 1 日本文化について興味や関心を持ったことを、二分程度でスピーチする。（言語活動1）／「鹿おどし」と「噴水」以外の具体例を用いて、日本文化と西洋文化を対比する文章を書く。（言語活動2）	

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 粘り強く比較を通じて「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。</p>
探究編 1 (5月)				
<p>話す・聞く 本を紹介する</p> <p>P160</p> <p>▼コラム ——図書館の利用法</p> <p>P164 2時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)イ、オ／(3)ア</p> <p><b>[思判表]</b> 話すこと・聞くこと(1)イ、ウ</p> <p>Ⓞ話すこと・聞くこと(2)ア</p> <p><b>[知技]</b> (2)イ／(3)ア</p> <p><b>[思判表]</b> 話すこと・聞くこと(1)ア</p>	<p>・話の構成や、紹介の仕方を工夫して話す。</p> <p>・図書館の利用法を学び、適切に利用できるようにする。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 情報を探索するための図書館の利用法について、確認する。(コラム——図書館の利用法)</p> <p>3 紹介する本のジャンルを選択するとともに、「課題」(P163)の中から一つを選び、お薦めの本をいくつか挙げて、「私のお薦め本リスト」を作る。</p> <p>4 ジャンルごとに班を作り、各自で紹介の準備や練習をする。</p> <p>5 選んだ本を班の中で紹介し合い、班として紹介する本を決める。</p> <p>6 班として紹介の準備をする。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 クラス全体に、班として本を紹介する。聞き手は「聞き取りメモ」を参考に、メモを取りながら聞く。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</li> <li>・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</li> </ul>

				<p>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p><b>[主]</b> 積極的にお薦めの本を挙げ、学習課題に沿って紹介の準備をし、本を紹介する活動をしようとしている。</p>
探究編 2 (5月)				
<p>書く 手順を整理して正確に伝える</p> <p>P168 3時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ウ、オ / (2)イ</p> <p><b>[思判表]</b> 書くこと(1)ウ、エ</p> <p>④ 書くこと(2)イ</p>	<p>・情報を分かりやすく整理し、表現を検討して手順書を書く。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「カレーの作り方」の手順書を作成した例を参考に、手順書の作り方を理解する。</p> <p>3 「課題」(P173)の中から一つを選び、何についての手順書を作るかを定める。</p> <p>4 伝えるべき手順を示す形式としてフローチャート形式や表形式などがあることを確認し、どのような形式で手順書を作るかを考える。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 手順書を作るために、必要な情報を書き出す。</p> <p>2 「カテゴライズ」「ナンバリング」「階層化」によって情報を分類し、手順書の大まかな流れを作成する。付随情報の処理についても考える。</p> <p>3 手順書の読み手を想定し、表現の言い換えや、情報の追加、省略などを検討する。</p> <p>4 検討内容を踏まえて、手順書を作成する。</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1 グループに分かれて手順書を読み合い、改善点を探して助言し合う。</p> <p>2 助言を踏まえ、手順書を修正する。</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <p>・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p> <p><b>[主]</b> 積極的に手順書の特徴を理解し、学習課題に沿って整理した情報を正確に伝えられるようにまとめようとしている。</p>

			3 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。	
読解編 2 言葉へのまなざし (6月)				
<p>読む (話す・聞く／書く) 「日本文化」とは？ という問い</p> <p>P28 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア、ウ、エ、オ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)エ 書くこと(1)イ 読むこと(1)ア</p>	<p>・「日本文化」という言葉の内実を問う評論を読み、自分のものの見方にある前提について考える。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b> 1 取り上げられている事例に注意しながら、全文を通読する。(手引き1) 2 今の「着物」を日本の「伝統」として扱うことの問題点について理解する。(手引き2) 3 「日本文化」について答えるとき、前提として「日本」「日本人」「日本文化」の選定や規範が問われていることを読み取る。(手引き3) 4 「眼球を意識する」ことによって、無意識にさまざまなことを前提としてもものを見ていることに気づけるという点を理解する。(手引き4-1・4-2・5) 5 無意識に前提としている「日本」「日本人」「日本文化」の規定が、決して単純なものではないことを読み取る。(手引き6)</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b> 1 「日本文化とは何だろうか。」という問いに対して、その答えにどのような違いが生じるのかを話し合う。(言語活動1)／「日本文化」を代表すると考えられる事柄を一つ挙げ、その理由を四百字程度の文章で書く。(言語活動2)</p>	<p>[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表] ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>[主] 粘り強く自分のものの見方にある前提について考える学習に取り組み、自分の考えを深めようとしている。</p>

<p>読む（話す・聞く／書く） 言葉は「ものの名前」ではない</p> <p>P34</p> <p>▼コラム ——評論を要約しよう</p> <p>P47 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア、ウ、エ、オ</p> <p>[思判表] 話すこと・聞くこと(1)ウ 読むこと(1)ア、イ</p> <p>[知技] (1)オ／(2)ア、イ</p> <p>[思判表] 書くこと(1)エ 読むこと(1)イ</p>	<p>・言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。</p> <p>・評論を要約する際の基本的な考え方を理解する。</p>	<p>&lt;第1時&gt;</p> <p>1 言葉と「もの」の関係に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 第一段を読んで、「ギリシャ以来の伝統的な言語観」がどのようなものなのかを理解する。(手引き2)</p> <p>3 第二段第一節を読んで、「羊」や「悪魔の魚」の例をもとに、「ギリシャ以来の伝統的な言語観」の問題点を理解する。(手引き3)</p> <p>4 第二段第二節を読んで、具体例をもとに、言葉の「意味の幅」がどのように決まるのかを確認し、「もの」と言葉の関係を理解する。(手引き4・5)</p> <p>5 ソシユールの言語観をまとめる。(手引き6)</p> <p>&lt;第2時&gt;</p> <p>1 要約の考え方を理解する。(コラム——評論を要約しよう)</p> <p>2 本文を二百字程度で要約する。(言語活動1) / 「日本人が日本語で思考する限り、概念化することのできない」事柄にはどのようなものがあるかを調べ、発表する。(言語活動2)</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考え</p>
---	---	--	--	--

				を深めている。 【主】粘り強く具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って言葉の働きについて考えをまとめ、話し合おうとしている。
読む（話す・聞く） 小説との対話、対話としての小説 P41 2時間	【知技】(1)ア、ウ、エ、オ 【思判表】話すこと・聞くこと(1)ウ、オ 読むこと(1)ア	・挙げられている例に注意しながら筆者の主張を読み取り、読書の在り方について考えを深める。	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 タイトルの意味に着目して全文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 「小説との対話」と「現実の人間との対話」の相違点と類似点を理解する。(手引き2)</p> <p>3 「羅生門」の冒頭部分と作品全体について、筆者が考える、小説における「自問自答」の効果を理解する。(手引き3-1・3-2)</p> <p>4 「言葉」が「対話し合う」という表現に着目し、小説が成立する過程で生じる「自問自答」について読み取る。(手引き4)</p> <p>5 小説に対する筆者の考えを捉え、読者と小説の関係について理解する。(手引き5)</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 「小説を読むことは対話」という筆者の主張について、自分の読書体験を踏まえて話し合う。(言語活動1) / 「自問自答しているようなところ」を感じる文章や本を選び、紹介し合う。(言語活動2)</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</li> <li>「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。</li> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> </ul> <p>【主】粘り強く具体例を通して「小説との対話」についての理解を深め、今までの学習を生かして自らの考えを広げようとしている。</p>

探究編 3 (6月)				
<p>話す・聞く 発想を広げて課題を見 つける</p>	<p>[知技] (2)イ [思判表] 話す こと・聞くこ と(1)ア、イ ④話すこと・聞 くこと(2)ウ</p>	<p>・発想を広げてアイ ディアを整理し、的 確に伝える。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b> 1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持 つ。 2 探究学習の四つのステップと、その内容を確認する。 (コラム——探究学習へのアプローチ) 3 思考・発想を広げる方法にはどのようなものがある か、確認する。更に、「マッピング」を使った活動の 例と、「ブレインストーミング」と「カードによるグル ーピング」を使った活動の例を参考に、学習の進め 方を理解する。 4 「課題」(P185)の中から一つを選び、思考・発想を 広げる方法として何を使うかを決める。ただし、以下 では「ブレインストーミング」と「カードによるグル ーピング」を使った発表活動を例として取り上げる。 * 「マッピング」を使った活動と、「ブレインストーミ ング」と「カードによるグルーピング」を使った活動 の両方を取り上げ、順に取り組んでもよい。 5 どのような題材について話し合うか、各自で題材案を 考えたうえ、グループで検討し、題材を決める。 6 決めた題材についてブレインストーミングを行うた めに、「ブレインストーミングのルール」を確認し、 『(1)出す・広げる』の例」を参考に話し合いの具体 的なイメージを持つ。 7 思いっくまま題材についてのアイディアを出し合う。 出されたアイディアは、その場で付箋に書き、台紙に 貼っていく。 <b>&lt;第2時&gt;</b> 1 前時に貼り付けた付箋について、類似性や共通項に注 目し、「グルーピングの観点の例」などを参考に分類・ 整理する。</p>	<p>[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解 している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理 解している。 [思判表] ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、 実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情 報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確 に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするととも に、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、 話の構成や展開を工夫している。 [主] 進んでテーマを考え、学習課題に沿って発想を広 げて整理して、発表する活動をしようとしている。</p>
<p>▼コラム ——探究学習へのアプロー チ</p>	<p>[知技] (1)ア [思判表] 話す こと・聞くこ と(1)ア</p>	<p>・探究学習の概要を 理解する。</p>		
<p>P174 3時間</p>				

			<p>2 グループ分けした付箋にタイトルを付け、「関係付ける視点の例」を参考に、相互の関係性が分かるように矢印などを書いて台紙に配置する。</p> <p>3 グループの成果を踏まえ、「発表の構成例」を参考に、五分程度のスピーチとしてまとめる。</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1 各グループの話し合いの成果を発表し合い、クラス全体で共有する。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	
--	--	--	---	--

探究編 4 (6～7月)

<p>書く 新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる</p> <p>P186 4時間</p>	<p>[知技] (1)ウ、オ / (2)オ [思判表] 書くこと(1)ア、イ ④ 書くこと(2)ア</p>	<p>・ 読んだ文章から問いを作り、構成を工夫して意見をまとめる。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「学習の流れ」を読んで、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「課題」(P193)の中から一つを選び、どのような活動を行うかを確認する。</p> <p>3 グループごとに、複数の新聞記事に目を通し、興味のある新聞記事を探し、選ぶ。</p> <p>4 インターネットを利用し、興味のある新聞記事に関する情報を探す。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 新聞記事の割り付けを参考に、「記事情報カード」に記入しながら、選んだ記事の内容を整理する。</p> <p>2 QFTによる七段階からなる問い作りの方法を確認するとともに、「問いの焦点」を定め、問い作りのルールを確認する。</p> <p>3 グループごとに、「記事情報カード」をもとに、QFTによる「問い」を作る。</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1 問いに優先順位を付けて、最終的に一つに絞り、選ぶ</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・ 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</li> </ul> <p>[主] 積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を意識して、自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合おうとしている。</p>
---	---	---------------------------------------	---	--

			<p>理由をグループ内で話し合う。</p> <p>2「記事情報カード」を活用し、選んだ問いをもとに意見をまとめ、意見文を書く。</p> <p><b>&lt;第4時&gt;</b></p> <p>1「意見をまとめる」という活動をするうえで、QFTの(1)～(6)の各プロセスは適切にこなせたのかを振り返り、グループ内で、できたこと、できなかったことを話し合う。</p> <p>2「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	
--	--	--	---	--

■ 2学期

読解編 3 メディアを考える (9月)

<p>読む(話す・聞く) 広告の形而上学 P52 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア、ウ、エ、オ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)オ 読むこと(1)ア ④ 読むこと(2)ア</p>	<p>・比喩に注意して、広告の奇妙さについて書かれた評論を読み、現代社会の特質について考える。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 広告やコマーシャルを見て、どう利用し、どのように見ているかについて、日頃感じていることを挙げる。</p> <p>2 全文を通読し、五つに分かれているそれぞれの部分について、そこで用いられている語句を抜き出して、小見出しを付ける。(手引き1)</p> <p>3 引用されたマルクスの言葉の意味を明らかにし、比喩の示す内容をについて説明する。(手引き2-1・2-2)</p> <p>4 プディングの例をもとに、資本主義社会における広告の役割について説明する。(手引き3-1)</p> <p>5 第四段落を読み、広告の生み出す差異性が広告自身に価値を持たせ、その結果、広告自身が商品となってしまうことについて理解する。(手引き3-2・4)</p> <p>6 第五段落の要点をまとめ、本文が書かれた意図を理解する。(手引き5)</p> <p>7 本文の小見出し「3」の内容を、百字程度で要約する。(言語活動1) / 同じ商品や同一テーマの広告を比較</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容</li> </ul>
--	--	---	---	---

			して、気づいたことを話し合う。(言語活動2)	や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 [主] 粘り強く筆者の考える広告について理解を深め、学習課題に沿って資本主義社会における広告についての考察を、自分の言葉で表現しようとしている。
探究編 5 (9月)				
<p>実用文を読む 広く伝える言葉1—ポ スター広告</p> <p>P202 1時間</p>	<p>[知技] (1)イ、 オ、カ [思判表] 読む こと(1)ア、イ ⑤ 読むこと(2) イ</p>	<p>・構成を踏まえて同じテーマについての異なるポスター広告を読み比べ、表現上の工夫や意図について理解を深める。</p>	<p>&lt;第1時&gt; 1 最近見た身近なポスター広告について例を挙げる。 2 ポスター広告Aを見ながら、主な構成要素を確認する。 3 ポスター広告を見る五つの観点を確認し、ポスター広告A (P202) を五つの観点から読み取り、読み取った内容をまとめる。 4 複数のポスター広告を比較する際の注意点を確認する。 5 「課題」(P204) A~Dのポスター広告を比較し、評価表を作成する。 6 グループに分かれて評価表を読み合い、改善点を探して助言し合う。</p>	<p>[知技] ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 [主] 進んでポスター広告の表現の工夫を読み取り、学習課題に沿って評価表を作成しようとしている。</p>
探究編 6 (9月)				
<p>実用文を読む 広く伝える言葉2—法令文</p>	<p>[知技] (1)イ、 エ、カ [思判表] 読む</p>	<p>・構成を踏まえて条例の内容を読み取り、ポスター広告と</p>	<p>&lt;第1時&gt; 1 全国にあるさまざまな条例について、知っていることを挙げる。</p>	<p>[知技] ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさな</p>

<p>P206 1時間</p>	<p>こと(1)ア、イ ㊦ 読むこと(2) イ</p>	<p>読み比べることを通して、それぞれの表現上の特徴について考える。</p>	<p>2 条例の構成について理解する。 3 「全国にあるさまざまな条例」(P206)の中から一つ選び、条例の目的や理念と、対象は誰で、何を求めているかを読み取る。 4 「課題」(P209)の条例とポスターを比較し、対応箇所を確認する。また、それぞれの工夫や表現の特徴について、気づいたことを話し合う。</p>	<p>どに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主】 進んで条例の内容を読み取り、学習課題に沿って条例とポスターを比較しようとしている。</p>
---------------------	-------------------------------------	--	--	--

読解編 3 メディアを考える(9月)

<p>読む(話す・聞く) 時間と自由の関係について P58</p>	<p>[知技](1)ア、ウ、エ、オ [思判表]話すこと・聞くこと(1)イ 読むこと(1)ア ㊦ 読むこと(2)ア</p>	<p>・時間と自由の関係についての筆者の主張を的確に読み取り、必要に応じてその内容を要約する。</p>	<p>&lt;第1時&gt; 1 「時間の自由」「自由な時間」について、日頃考えていることを挙げる。 2 筆者が、二種類の「時間の自由」、また「二つの時間」について論じていることを理解しながら、本文を通読する。(手引き1・2) 3 段に分けて全体の構成と展開を把握する。 4 現代の「時計に支配された世界としての学校」と、かつての「時計のない学校」との違いを具体的につかむ。</p>	<p>[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>
---	--	---	---	---

<p>◆思考への扉2 ——「自由」を論じる P80 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア／ (3)ア [思判表] 読む こと(1)イ</p>	<p>・書かれている内容を理解し、「時間と自由の関係について」を読み深める。</p>	<p>5 学校教育と労働における時間に関する価値基準の転換をつかむ。(手引き4) 6 二種類の「時間の自由」を説明し、「外部化された時間」とは何かを確認する。(手引き3-1) 7 「時計のない学校」(P58・L7)について、考えられるよい点と悪い点を、図や表を用いて整理しながら話し合う。(言語活動1) 8 「二つの時間」と「老人」の話とのつながりを確認し、「いまを生きているという時間」は人間を平等にし、創造を与えていることを読み取る。(手引き5) 9 現代人の時間の在り方について、筆者がどのように捉えているのかを説明し、「経済は時間の有効な配分によって成り立っている」の意味する内容を確認する。(手引き3-2) 10 「時間を既成観念から解放しなければならない」の意味を確認し、「自由」とは何かを改めて考え、人間の自由と時間の関係について考える。(手引き3-3・6・思考への扉2——「自由」を論じる) 11 「もしかすると、…」(P61・L5)から「…ならなかったのである。」(P62・L1)までについて、筆者の主張を要約し、その主張に対する自分の考えを書く。(言語活動2)</p>	<p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 [思判表] ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 [主] 粘り強く二種類の「時間の自由」「二つの時間」についての内容や筆者の意図を解釈し、学習課題に沿って人間の自由と時間について、筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>読む 映像文化の変貌 P68  ■参考 富嶽百景 P78 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア、 ウ、エ、オ [思判表] 読む こと(1)ア、イ  [知技] (1)ウ</p>	<p>・複製技術が発達した現代の映像文化について書かれた評論を、叙述に即して的確に読み取る。</p>	<p>&lt;第1時&gt; 1 テレビや映画などの「映像文化」に接して、日頃感じていることを挙げる。 2 本文を、内容に即して四つに分けることを意識しながら通読する。(手引き1) 3 我々はエッフェル塔をどのように知っているのか、その在り方と来歴を捉える。(手引き2) 4 筆者が言う「イメージ」の特徴と、それが人間に及ぼす影響について考える。(手引き3-1)</p>	<p>[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしてい</p>

		<p>5 今日では、映像こそが現実であり、オリジナルが一点だけあるという前近代へ戻ることは難しいという筆者の主張を読み取る。(手引き3-2)</p> <p>6 「アウラ」とはどのようなものを理解し、映像文化の中で生きる我々に今後求められることについて考える。(手引き3-3・4)</p> <p>7 映像文化がどのように変貌したか、本文に即してまとめる。(手引き5)</p> <p>8 本文を二百字程度で要約する。(言語活動1) / 「『空虚』な記号」としてのイメージが氾濫する現代において、「豊かなイメージと貧しいイメージとを選り分ける感受性」とはどのようなものであるかを「富嶽百景」を参考にしながら話し合う。(■参考 富嶽百景)(言語活動2)</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 粘り強く筆者が述べる「イメージ」に慣れすぎることの危険性についての内容理解を深め、学習課題に沿って、映像文化の変貌について本文に即してまとめようとしている。</p>
--	--	--	---

探究編 7 (9~10月)

<p>実用文を読む 文章と資料を組み合わせ て読む—図表・グラフ</p> <p>P194 1時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア、エ、オ/(2)ア、イ、エ、オ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア、イ</p> <p><b>(活)</b> 読むこと(2)イ</p>	<p>・データを提示しながら地球温暖化の現状を論じた文章を読み、図表を伴う文章の読み方について理解を深める。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 文章と資料の対応を確認しながら、「温室効果ガスと気候変動」(P194)を通読する。</li> <li>2 文章で示された図表・グラフ1~5の内容と種類について確認する。</li> <li>3 文章で書かれた内容と、図表・グラフで示された情報の対応を確認する。</li> <li>4 文章との関わりが明示されていない図表・グラフについて、出典や題名を手がかりに、文章の内容に即して照合する。</li> <li>5 図表・グラフが示される目的と、読解における文章内容との対応関係を知る意義について、改めて確認する。</li> </ol>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</li> </ul>
--	--	--	---	---

				<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</li> <li>引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 粘り強く文章と資料の対応関係を理解しようとしており、学習課題に沿って図表やグラフを伴った文章を読み取ろうとしている。</p>
--	--	--	--	--

探究編 8 (9~10月)

<p>話す・聞く メディアを適切に使い分けながら、情報を収集する</p> <p>P212 2時間</p>	<p><b>[知技]</b> (2)エ <b>[思判表]</b> 話すこと・聞くこと(1)ア、オ ④話すこと・聞くこと(2)イ</p>	<p>・情報を集めて整理し、考えを深める。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</li> <li>2 「子供のSNS利用の実態と是非」というテーマについて調べて話し合った例を参考に、学習の進め方を確認する。</li> <li>3 「課題」(P219)の中からテーマを一つ選ぶ。</li> <li>4 テーマに関する情報をインターネットで収集し、インターネットの特徴や長所・短所をグループで話し合う。</li> <li>5 インターネット以外に、情報収集に利用できるメディアの種類を確認する。</li> <li>6 テーマに関する情報を、インターネット以外のメディア</li> </ol>	<p><b>[知技]</b> 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</li> <li>「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 積極的にメディアを使って情報を収集し、学習課題に沿って各メディアの特徴や長所・短所について話し合い、自分の考えを深めようとしている。</p>
--	---	---------------------------	---	---

			<p>アで収集する。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 収集した情報をもとに、各メディアの特徴や長所・短所について、手軽さ・信頼性・発展性・速報性といった観点からグループで話し合う。</p> <p>2 話し合いの内容を、一覧表にまとめる。</p> <p>3 まとめた一覧表をもとに、クラス全体にグループとして報告する。</p> <p>4 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	
探究編 9 (10月)				
<p>書く</p> <p>調べた情報を説明資料にまとめる</p> <p>P220 6時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ウ、オ / (2)イ</p> <p><b>[思判表]</b> 書くこと(1)ア、エ</p> <p><b>(活)</b> 書くこと(2)ウ</p>	<p>・情報の信頼性を吟味し、伝える相手や目的に応じてまとめる。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「海外留学説明会」の資料を作成した例を参考に、説明資料の作り方を理解する。</p> <p>3 「課題」(P226)の中から一つを選び、どのような説明資料を作るかを決める。</p> <p>4 調べるべき情報の項目をリストアップする。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 前時に挙げた情報の項目を、分類・整理する。</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1 前時に整理した情報の項目ごとに、手持ちの資料を読み返したり、図書資料やインターネットのウェブサイトなどを活用したりして、情報を集める。</p> <p>2 調べて分かったことを「情報カード」にまとめていく。</p> <p>3 「情報カード」に記入した情報を、「情報の発信者」「情報の信頼性」「情報の新しさ」「情報の分かりやすさ」の四つの観点から吟味する。</p> <p><b>&lt;第4・5時&gt;</b></p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 積極的に説明資料の作成に必要な情報を収集、整理し、学習課題に沿って伝える相手や目的を意識した説明資料を作成する活動をしようとしている。</p>

			<p>1 資料の読み手や目的に応じて、内容や全体の構成を考えて、説明資料にまとめる。</p> <p>2 伝える相手や目的を意識して、文章全体を整え、完成させる。</p> <p><b>&lt;第6時&gt;</b></p> <p>1 グループに分かれて説明資料を読み合い、資料の作成過程で生じた困難や浮かんだ疑問・気づきなどを話し合う。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	
読解編 4 共に生きる (11月)				
<p>読む(話す・聞く／書く)</p> <p>真の自立とは</p> <p>P82</p> <p>2時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア、ウ、エ、オ</p> <p><b>[思判表]</b> 話すこと・聞くこと(1)ア 書くこと(1)ウ 読むこと(1)ア、イ</p> <p>④ 読むこと(2)イ</p>	<p>・「自立」の在り方について考察する評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 二つの意味段落の内容を押さえながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 現代社会における「できる」「できない」の構造と、それが人生に及ぼしている影響について読み取り、まとめる。(手引き2・3)</p> <p>3 筆者の主張する「自立」について、現代社会で混同して使われている「独立」という言葉との違いも踏まえて読み取り、まとめる。(手引き4・5)</p> <p>4 現代における「若い」や「二十年近く延々と『成人儀礼』が続く」現代の状況について、筆者の言う「自立」という観点から考え、話し合う。(手引き6)</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 「大人になる」とはどういうことかについて、自分の考えを図や表を用いて整理し、発表する。(言語活動1)／筆者の主張を一つ取り上げ、それに対する肯定または否定の意見を、根拠とともに文章にまとめる。(言語活動2)</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</li> <li>・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工</li> </ul>

				<p>夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> </ul> <p>[主] 積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>読む（話す・聞く） 自立と市場</p> <p>P90 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア、ウ、エ、オ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)オ 読むこと(1)ア、イ ④ 読むこと(2)イ</p>	<p>・ 比喩や具体例に注意して内容を読み取り、自立とそれを支えるものの関係について考えを深める。</p>	<p>&lt;第1時&gt;</p> <p>1 筆者の考える「自立」と「市場」の関係に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 熊谷さんがどのような人物であるのかを読み取る。</p> <p>3 「太いが切れたら終わる一本の命綱に頼っていた」という比喩は「熊谷さんと母親」「小十郎と商人」、それぞれにおいてどのような関係だったことを表しているかを理解する。(手引き2-1・2-2)</p> <p>4 熊谷さんが考えている「自立」の状態を読み取る。(手引き3)</p> <p>5 筆者の主張を踏まえ、「自立」と「依存」の関係について具体例を挙げて考える。</p> <p>6 筆者は、「市場」の評価すべき点と注意すべき点をどのように捉えているのか、読み取り、整理する。(手引き4)</p> <p>7 市場とどのように付き合っていくのがよいかを話し合い、その結果を資料にまとめる。(言語活動1) /</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容</li> </ul>

			自立について論じた別の文章を読み、その共通点と相違点を、図や表を用いて整理する。(言語活動2)	や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 [主] 積極的に「自立」と、その対極である「依存」について筆者の考えを読み取り、理解を深め、学習課題に沿って実社会における「市場」の評価すべき点と注意すべき点をまとめようとしている。
読む(話す・聞く) 共鳴し引き出される力 P95	[知技] (1)ア、ウ、エ、オ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)ア、エ 読むこと(1)ア、イ ⑤ 読むこと(2)イ	・ 紹介されている体験談を踏まえて、「能力」に関する筆者の考えを読み取る。	<第1時> 1 筆者の「能力」の捉え方に注意しながら、本文を通読する。(手引き1) 2 丹野さんの考えたことから導かれる「ラディカルな発想の転換」を理解し、まとめる。(手引き2) 3 筆者が、「能力」とは個人に属するものであるかどうかという視点から疑問を呈していることを確認する。 4 全盲のランナーと目の見える伴走者の例から『『共鳴』の感覚』について読み取り、まとめる。(手引き3) 5 「予防」と「予備」についての筆者の捉え方を読み取り、まとめる。(手引き4) 6 「先回りの介助」についての筆者の考えを、百字程度で要約する。(言語活動1)	[知技] ・ 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すと同時に、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・ 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・ 推論の仕方を理解し使っている。
▼文章を読み比べるために P100 2時間	[知技] (2)ア、ウ [思判表] 読むこと(1)イ ⑤ 読むこと(2)イ	・ 文章の読み比べ方を学び、比較する方法を理解する。	<第2時> 1 「他者の力を巧みに取り込み、自分をネットワーク化して生きる人たちが「身をもって示す能力の定義」が、どのようなものであるか理解し、まとめる。(手引き5) 2 まとめたものを踏まえて、自分たちに当てはめられる具体例を考え、資料にまとめて発表する。(言語活動	[思判表] ・ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・ 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想

			<p>2)</p> <p>3 「三角ロジック」の考え方で意見を整理する方法を理解し、「共鳴し引き出される力」では、どのような具体例をデータとして用い、どのように「理由付け」をしているかを分析し、まとめる。(文章を読み比べるために)</p>	<p>しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 粘り強く筆者の捉える「能力」について理解を深め、今までの学習を生かして同じテーマの文章を読み比べ、自分の意見を整理しようとしている。</p>
--	--	--	---	--

探究編 10 (11~12月)

<p>書く 異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く</p> <p>P227 7時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア、オ / (2)ア</p> <p><b>[思判表]</b> 書くこと(1)ア、イ</p> <p><b>㊦</b> 書くこと(2)ア</p>	<p>・読み比べて考えを明確にし、伝わりやすい構成で書く。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「読書について書かれた文章」A~Cを読み比べて意見文をまとめた例を参考に、読み比べて自分の意見を書く方法を理解する。</p> <p>3 「課題」(P231)の中から一つを選び、テーマに沿った本を図書館で3冊程度探す。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 「メモの例」を読み、読み比べた文章の内容や自分で考えたことを簡潔にメモする方法を確認する。</p> <p>2 1冊目の本を読み、「メモの例」を参考にし、まとめる。</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1 2冊目の本を読み、「メモの例」を参考にし、まと</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 積極的にテーマに沿った本を探し、学習の見通しをもって異なる主張の文章を読み比べ、自分の考えが</p>
--	--	-----------------------------------	---	---

			<p>める。</p> <p><b>&lt;第4時&gt;</b></p> <p>1 3冊目の本を読み、「メモの例」を参考にし、まとめる。</p> <p><b>&lt;第5時&gt;</b></p> <p>1 「構成案の例」を読み、メモを参考にしながら、意見文の構成を考える。</p> <p><b>&lt;第6時&gt;</b></p> <p>1 決めた構成をもとに、意見文を完成させる。</p> <p><b>&lt;第7時&gt;</b></p> <p>1 グループに分かれて意見文を読み合う。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	読み手に伝わるように意見文としてまとめようとしている。
探究編 11 (12月)				
<p>話す・聞く 情報を整理しながら話し合う</p> <p>P232 2時間</p>	<p>[知技] (2)エ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)エ、オ ④話すこと・聞くこと(2)ウ</p>	<p>・話し合いの進め方を工夫し、考えを深める。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 話し合いには種類があることを理解し、「S高校の生物部」の話し合いの例を参考に、「企画会議」の進め方を確認する。</p> <p>3 「課題」(P237)の中から一つを選び、グループに分かれて司会や記録係などの役割を分担し、話し合いの目的と、必要とする事前準備を確認のうえ、次時までに必要なアイディア案などを考えてくる。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 グループで、各自のアイディア案の概要を確かめるとともに、時間配分などの話し合いの進め方を確認する。</p> <p>2 提案者が各案を説明し、質疑応答をしながら検討事項</p>	<p>[知技]情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。</p> <p>[主]積極的に「企画会議」の進め方に沿って論点を共有し、学習の見通しをもって提案内容を整理しながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。</p>

			<p>を表に整理し、話し合う。</p> <p>3 話し合いの結果、決まったことや今後の課題を整理し、確認する。</p> <p>4 話し合いについて、「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>5 グループごとに、話し合いの結果をクラス全体に発表し、成果と課題を共有する。</p>	
--	--	--	--	--

■ 3 学期

読解編 5 科学から見た人間（1～2月）

<p>読む（話す・聞く） 生物の多様性とは何か P104</p>	<p>[知技](1)ア、ウ、エ、オ [思判表]話すこと・聞くこと(1)ウ 読むこと(1)ア、イ</p>	<p>・生物多様性について書かれた評論を読み、ヒトが自ら守るべき「分際」について考えを深める。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「ニッチ」「動的平衡」「生物多様性」などの語句に注意しながら、全文を通読する。（手引き1）</p> <p>2 本文の四つの部分の要点を箇条書きで整理する。（手引き2）</p> <p>3 生態系が長い時間をかけて作り出したバランスや生物が守っている「生態学的地位（ニッチ）」について読み取り、まとめる。</p> <p>4 筆者が定義する「動的平衡」の意味を理解し、それを構成する要素の結び付きが多様で、「相互依存的」・「相互補完的」であることを読み取り、まとめる。（手引き3-1）</p> <p>5 第三段から、「地球環境というネットワークの結節点」[一〇七・8]「生物多様性は、動的平衡の強靱さ、回復力の大きさをこそ支える根拠」[一〇八・4]「地球環境はしなやかであると同時に、薄氷の上に成り立っている。」[一〇八・14]などの箇所の意味を読み取り、まとめる。（手引き3-2・3-3・3-4）</p> <p>6 ヒトが考えなければならない「生命観と環境観のパラダイム・シフト」について読み取り、まとめる。（手引き3-5）</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉</li> </ul>
<p>◆思考への扉3 ——共有地の悲劇 P132 1時間</p>	<p>[知技](1)ア／(3)ア [思判表]読むこと(1)イ</p>	<p>・書かれている内容を理解し、「生物の多様性とは何か」を読み深める。</p>		

			<p>7 「思考への扉3——共有地の悲劇」を、「ヒト」としての「ニッチ」について考えながら通読する。(思考への扉3——共有地の悲劇)</p> <p>8 「生物多様性」が重要である意味をまとめる。(手引き4)</p> <p>9 本文の内容と「生物多様性基本法 前文」〔一〇八〕の内容の共通点と相違点を、図や表を用いて整理する。(言語活動1) / 生物多様性について興味を持ったことを調べて発表する。(言語活動2)</p>	<p>え、要旨や要点を把握している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 粘り強く筆者が定義する内容を理解し、学習課題に沿って「生物多様性」における自分の考えを発表しようとしている。</p>
<p>読む(話す・聞く／書く)</p> <p>人工知能はなぜ椅子に座れないのか</p> <p>P111 2時間</p>	<p><b>[知技]</b>(1)ア、ウ、エ、オ</p> <p><b>[思判表]</b>話すこと・聞くこと(1)ア</p> <p>書くこと(1)エ</p> <p>読むこと(1)ア、イ</p> <p><b>(活)</b>読むこと(2)イ</p>	<p>・人工知能に関して人間と比較しながら論じた評論を読み、両者の違いについて考える。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「コミュニケーション」「意図」「意味」「物語」などの語句に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 コミュニケーションに関する、「クロード・エルウッド・シャノンらの考え方」とはどのようなものかを読み取り、まとめる。(手引き2)</p> <p>3 「特徴を表現するという方法」に欠けている「重要な視点」とは何か、また、それが「『意図』」についての理解」とどのように結び付いているかを読み取り、まとめる。(手引き3・4)</p> <p>4 「場」と「身体」との関係に注意しながら、「こうした考え方」が、どのような考え方を指しているかを読み取り、まとめる。(手引き5)</p> <p>5 「『自らの人生を生きる』という行為」は、「人間や生物にのみ許された行為である」と筆者が考える理由を、「人工知能」との対比を踏まえて理解し、まとめる。(手引き6)</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 身近な具体例から「椅子を認識するということ」が「『物語』」の中に関係が作りだされるということであるとはどういうことか、考え、話し合う。(言語活</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すと同時に、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉</li> </ul>

			動1) / 「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」という問いに対する筆者の考えを要約し、要約した文章を第三者に読んでもらい、読み手からの意見を踏まえて修正する。(言語活動2)	え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 [主] 粘り強く筆者が説く人間と人工知能の比較について理解し、今までの学習を生かして筆者が考える『自らの人生を生きる』という行為について読み取り、自分の考えを深めようとしている。
読む(話す・聞く／書く) 学ぶことと人間の知恵 P120	[知技](1)ア、ウ、エ、オ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)エ 書くこと(1)イ 読むこと(1)ア、イ ⑤ 読むこと(2)イ  [知技](1)ア [思判表] 読むこと(1)ア、イ ⑤ 読むこと(2)イ	・文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。	<b>&lt;第1時&gt;</b> 1 「コンピューター」と「人間」の違いに注意しながら、本文を通読する。(手引き1) 2 「忘却」という人間特有の能力の長所と短所を読み取り、確認する。 3 勉強しても忘れてしまうにもかかわらず、筆者が「学ぶことは、結果として無駄にはならない」と述べる理由を読み取り、まとめる。(手引き2) 4 人間の脳のみが持っている「ゆとり」とは、頭脳のどのような状態のことをいうのかを読み取り、まとめる。(手引き3) 5 人間の頭脳にある「寛容性」とはどのようなものであるかを読み取り、まとめる。(手引き4) 6 「知恵」の「広さ」「深さ」「強さ」それぞれについて整理し、まとめる。(手引き5) 7 学ぶことの意義における筆者の主張のまとめを読み取る。 <b>&lt;第2時&gt;</b> 1 筆者が本文中で述べたほかに、知恵にはどのような側面があるか、思考ツールを用いながら整理し、話し合う。(言語活動1) / 「コンピューター」と「人間」の違い	[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 [思判表] ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容
■参考 ——人工知能の現在と未来 P128 2時間				

			<p>いについて、関連する他の文章を読んで、考えたことを八百字程度の文章で書く。(言語活動2)</p> <p>2 参考『人工知能の現在と未来』の本文を通読し、『人工知能はなぜ椅子に座れないのか』『学ぶことと人間の知恵』と読み比べ、共通点と相違点を整理する。(参考——人工知能の現在と未来)</p>	<p>や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p><b>[主]</b> 積極的に筆者の意図する「コンピューター」と「人間」の違いについて理解を深め、学習課題に沿って内容を整理し、自分の意見を持って話し合おうとしている。</p>
--	--	--	--	--

探究編 12 (1～2月)

<p>書く 論証してレポートを書く</p> <p>P 238</p> <p>▼コラム——引用の方法</p> <p>P 246 5 時間</p>	<p>[知技](1)ウ、オ / (2)ウ</p> <p>[思判表]書くこと(1)イ、ウ</p> <p>④書くこと(2)ウ</p> <p>[知技](2)エ、オ</p> <p>[思判表]書くこと(1)ウ</p>	<p>・論点を整理して論証し、レポートの形式で書く。</p> <p>・引用の方法を学び、適切に引用できるようにする。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 レポートの種類を理解し、「成人式」をテーマに論証型レポートを書いた例を参考に、レポートの書き方を確認する。</p> <p>3 「課題」(P245)の中から、レポートのテーマとして一つを選ぶ。</p> <p>4 選んだテーマに関して、百科事典やインターネットなどを活用して予備調査を行う。</p> <p>5 テーマに関する問いをいくつか立てて、答えを想定する。</p> <p>6 レポートで取り上げる問いを決める。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 「『小さな問い』の例」を参考に、自分の問いについての「小さな問い」をいくつか立てる。</p> <p>2 「小さな問い」を踏まえて、レポート全体で何をどう論証していけばよいのかを考え、論点を整理する。</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>・推論の仕方を理解し使っている。</p> <p>・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <p>・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p><b>[主]</b> 進んでテーマに関することを調べて問いを立て、</p>
---	---	--	--	---

			<p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1 「論証の方法」として教科書に挙げられている三つの方法を理解する。</p> <p>2 さまざまな論証の方法を組み合わせ、論証の結果を積み重ねる形で全体の答えを導く。</p> <p><b>&lt;第4時&gt;</b></p> <p>1 レポートを書くうえで一般的に必要なとされている形式を理解する。</p> <p>2 引用の方法や出典の示し方などについて理解する。 (コラム——引用の方法)</p> <p>3 これまで調査し、考えてきたことをもとに、レポートを書く。</p> <p><b>&lt;第5時&gt;</b></p> <p>1 書き終えたレポートを読み直したり、第三者に読んでもらったりして、推敲や修正を行う。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p>学習の見通しをもって論点を整理し、論証を行ってレポートを書く活動をしようとしている。</p>
--	--	--	---	---

読解編 6 近代の先へ (2～3月)

<p>読む(書く)</p> <p>暇と退屈の倫理学</p> <p>P134</p> <p>1時間</p>	<p>[知技](1)ア、ウ、エ、オ</p> <p>[思判表] 書くこと(1)ウ</p> <p>読むこと(1)ア、イ</p>	<p>・暇を得た社会の中で、個人はどうかについて、引用と主張の関係に注意して読み取る。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 内容の展開に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 第一段を読んで、余裕のある社会における「『好きなこと』」の意味を考え、筆者の問題提起を読み取る。(手引き2)</p> <p>3 第二段を読んで、「労働者の暇が搾取されている。」ことの意味を読み取る。(手引き3)</p> <p>4 第三段を読んで、ウィリアム・モリスの考えから、「『豊かな社会』」における問題点を読み取る。(手引き4-1)</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul>
--	---	---	--	---

			<p>5 第四段を読んで、モリスが考えていた「ぜいたく」から、モリスの考える「『豊かな社会』」について読み取る。(手引き4-2)</p> <p>6 本文全体を読んで、筆者の主張を読み取る。(手引き5)</p> <p>7 本文を二百字程度で要約する。(言語活動1) / 「生きることはバラで飾られねばならない。」という筆者の主張に対する意見を八百字程度の文章で書く。(言語活動2)</p>	<p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 粘り強く筆者の考えと引用を読み解き、学習課題に沿って実社会における生き方について筆者の主張を理解し、自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>読む(話す・聞く／書く) 〈私〉時代のデモクラシー</p> <p>P142 2時間</p>	<p><b>[知技]</b>(1)ア、ウ、エ、オ</p> <p><b>[思判表]</b> 話すこと・聞くこと(1)イ 書くこと(1)エ 読むこと(1)ア</p>	<p>・〈私〉が尊重される現代社会におけるデモクラシーが抱える課題を理解し、視野を広げる。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「〈私〉時代」がどのような時代かに注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 第一段・第二段を読んで、「伝統的な社会」と『近代』という時代の違いを、「家族」と「宗教」を取り上げて整理する。(手引き2)</p> <p>3 第一段・第二段を読んで、「今の時代」がどのような時代なのかを、本文中の表現の意味を確認しながら読み取り、まとめる。(手引き3-1)</p> <p>4 第三段を読んで、「このようなパラドックス」の意味を理解し、筆者の述べる「〈私〉時代」の特徴を読み取り、まとめる。(手引き3-2)</p> <p>5 第三段を読んで、「〈私〉時代」において〈私たち〉を形成することが難しくなっている理由を読み取り、まとめる。(手引き4)</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに</li> </ul>

			<p>6 第三段を読んで、筆者の述べる「〈私〉時代のデモクラシー」の特徴と課題を読み取り、まとめる。(手引き5)</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 本文全体を読み、筆者の述べる「〈私〉時代のデモクラシー」について、日常生活の場面を例に挙げて話し合う。(言語活動1) / 本文を二百字程度で要約したうえで読んでもらい、読み手の意見を踏まえて修正する。(言語活動2)</p>	<p>に、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> </ul> <p>[主] 積極的に筆者の考える「〈私〉時代」について理解し、学習課題に沿って「デモクラシー」の本義と現代の「デモクラシー」を比較し、自分の考えをまとめ、他者と話し合おうとしている。</p>
<p>読む(話す・聞く／書く) 鳥の眼と虫の眼 P151</p> <p>◆思考への扉4 ——「凶暴」さと向き合うこと P158 2時間</p>	<p>[知技](1)ア、ウ、エ、オ / (2)オ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)ア、エ 書くこと(1)ウ 読むこと(1)ア</p> <p>[知技](1)ア / (3)ア [思判表] 読むこと(1)イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引用の役割に注意しながら本文を読み、物事を見る視点の重要性について考える。</li> <li>・書かれている内容を理解し、「鳥の眼と虫の眼」を読み深める。</li> </ul>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 引用された文章の内容に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 サン・テグジュペリの『人間の土地』を、筆者が初めて読んだときの感想を踏まえたうえで、大人になって読み返したときに覚えた「かすかな違和感」がどのような部分にあるのかを、読み取りまとめる。(手引き2)</p> <p>3 『大草原の小さな家』に関して、文筆家の松村由利子を感じた、幼い頃に憧れていた本の世界が別様に見えるときの複雑な思いとは、どのようなものであったのかを読み取る。</p> <p>4 エドワード・サイードの『オリエンタリズム』は、筆者の本の読み方においてどのような役割を果たしたのかを読み取る。</p> <p>5 「それでも、その物語から失われない人間性というもの、もしありうるのだとしたら。」(一五三・13)における、筆者の考える「可能性」とはどのようなもの</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。</li> <li>・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、</li> </ul>

			<p>かを読み取りまとめる。(手引き3)</p> <p>6 バーバラ・クーニーの『ルピナスさん』は、筆者にとって、どのような絵本であったのかを読み取る。</p> <p>7 近年の人類学的なフィールドワークにおける調査で推奨される内容を、なぜ「ある意味で正しいのだろう」(一五五・6)と述べるのかを読み取りまとめる。(手引き4)</p> <p>8 「そんなつましい便りを、遠ざかっていく誰かに送ることができたらと願う。」(一五六・8)と述べる筆者の意図はどのようなことにあるのかを読み取りまとめる。(手引き5)</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 過去を振り返り、当時と現在とで異なる印象を受ける事柄や経験について話し合う。(言語活動1) / 過去に読んだ文章や本を改めて読んで考えたことを、文章や本の一部を引用しながら八百字程度の文章で書く。(言語活動2)</p>	<p>実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> </ul> <p>[主] 粘り強く引用された文章について、内容の理解を深め、今までの学習を生かして筆者の意図する「願い」を読み取ろうとしている。</p>
探究編 13 (2~3月)				
<p>話す・聞く 探究したことを発信する</p> <p>P251 3時間</p>	<p>[知技](1)イ、オ [思判表]話すこと・聞くこと (1)ウ、エ ⑤話すこと・聞くこと(2)エ</p>	<p>・発表の仕方や、話の聞き方を工夫する。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「さまざまな発表の形式」を参考に、さまざまな発表の形式について確認する。また、「パラSPORTS」に関する「ポスターセッション」と「スライドを用いた発表」の例を参考に、具体的な発表の仕方を理解する。</p> <p>3 「課題」(P258)の中から発表の形式の一つを選ぶ。た</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を</li> </ul>

			<p>だし、以下では「ポスターセッション」による発表活動を例として取り上げる。</p> <p>4 グループごとに、取り上げるテーマを設定する。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 前時に設定したテーマについて、調べる切り口と内容を絞り込み、調査を行う。</p> <p>2 調査内容を模造紙などにまとめ、ポスターを作成する。その際、伝えたいことを明確に表現できるよう、タイトルの付け方や、記事・図表の配置などを工夫する。</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1 「発表の構成例」を参考に、発表時間を5分として、発表する内容と時間配分を考える。</p> <p>2 グループごとに発表を行う。</p> <p>3 発表の後、質疑応答の時間を2分程度設ける。聞き手は、「聞き方のポイント」を参考に、積極的な意見交換ができるようにする。</p> <p>4 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p>踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>[主] 進んで分かりやすい発表活動の準備に取り組み、学習課題に沿って聞き手が理解しやすいように発表を行おうとするとともに、他のグループの発表をしっかり聞いて理解を深めようとしている。</p>
--	--	--	---	---